

# 一般質問通告書

No.1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

平成27年2月19日  
東村山市議会議長 様

議席番号 9番  
質問者 村山 淳子

## 記

番号	質問の項目と要旨
1.	<p><b>認知症高齢者等にやさしい地域づくりを</b></p> <p>国の認知症施策推進総合戦略新オレンジプランでは、認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らし続ける社会の実現を目指すことを基本的な考えとし、7つの柱が示されています。それを踏まえ質問します。</p> <p>① 認知症サポーターの養成と活動の支援について、当市のサポーター養成の状況を伺います。</p> <p>② 学校教育等における認知症の人を含む高齢者への理解の推進が掲げられています。26年6月議会で小中学校でのサポーター養成講座を提案しました。その後の経過、導入に向けて取り組みは進んでいるか伺います。</p> <p>③ 見守りの目を増やすという点で、市内の企業、例えば銀行、スーパー、コンビニ等市民と接する機会の多い職種の方に認知症サポーターになっていただく取り組みも必要と考えます。見解を伺います。</p> <p>④ 早期診断・早期対応のための体制整備として、かかりつけ医の認知症対応力向上、認知症サポート医の養成等とありますが、27年度に向けて当市の現状を伺います。</p> <p>⑤ 若年性認知症の場合、家族など身近にいる人の気づきがなければ早期発見・診断に結び付けることは難しいと考えます。早期発見するための取り組みを伺います。</p> <p>⑥ 家族向けの認知症介護教室等の普及促進の取り組みを伺います。</p> <p>⑦ ユマニチュードという介護の技法があります。認知症の方や高齢者だけでなくケアが必要となるすべての人が使える汎用性の高い技法ということで、メディアで取り上げられています。大介護時代を前にユマニチュードを活用したケアが広がるまちづくりの取り組みを提案します。見解を伺います。</p> <p>⑧ 認知症の人を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進として、生活しやすい環境の整備が掲げられています。その中に、高齢者が自ら運転しなくても移動手段を確保できる公共交通を充実することとあります。外出支援策検討の進捗を伺います。</p> <p>⑨ 安全確保の点で、災害時避難所の受け入れなど認知症者への対応について伺います。</p> <p>⑩ 多様な高齢者向け住まいの確保について、当市ではどのようなものを想定しているのか伺います。</p>

番号	質問の項目と要旨
2.	<p data-bbox="284 450 970 488"><b>化成小学校 水はけが悪い校庭の改良を！</b></p> <p data-bbox="284 524 1417 656">化成小学校の校庭は、水はけが悪く、雨のあと、また冬の霜が降りる時期は、校庭をまともに使用できない状況となっています。子どもたちが、校庭で体育の授業を満足にできない状況です。一日も早く改善することが必要と考え、質問します。</p> <ol data-bbox="284 719 1417 898" style="list-style-type: none"><li>① 公立小中学校の校庭の状況を伺います。</li><li>② 化成小校庭の水はけが悪い状態を改善するためにおこなってきた対策を伺います。</li><li>③ 体育の授業等に影響があることについて、どのように捉えているか伺います。</li><li>④ 改良の計画があるか、いつ実施予定か伺います。</li></ol>